

●令和3年9月定例会

詳しく述べは議会中継(録画)をご覧下さい→



農業政策に対する市長の考え方について

- 質問 ①農業後継者の経営支援や担い手確保について
②地産地消の取り組みについて
③市産農産物のブランド化について



答弁 (市長)

- ①農業従事者の減少、高齢化が進む中、魅力ある農業をPRするため、国庫交付金を活用し経営確立を支援する資金交付を行っている。また、農地集約・経営規模拡大で耕作放棄地解消を目指し、農業所得の安定化、担い手確保につなげている。
②学校給食には米の全量を奈良市産で使用し、地元産食材を取り入れる取り組みを進めている。
③市産農産物のPRを行い認知度向上に取り組み、6次産業化の動きを把握しながら市産農産物の付加価値向上に努めたい。

公民館分館の耐震化について

- 質問 公民館分館施設の耐震化の現在の状況及び耐震化未実施の分館施設の今後の対応について

答弁 (教育部長)

24館ある公民館分館のうち田原公民館横田分館、平城公民館歌姫分館が耐震できていない。



答弁 (教育長)

地域の意向も参考に平城公民館歌姫分館については今後の施設のあり方を検討していきたい。

●令和3年9月予算決算委員会観光文教分科会

人・農地問題解決推進事業について

- 質問 人・農地問題解決推進事業の取り組みと今後の方向性について



答弁 (農政課長)

農地利用のアンケートの実施。就農状況や後継者確保状況を地図化。新規就農者確保のため国からの交付金制度の活用。後継者不在の耕作放棄地解消のため農地中間管理機構の活用を勧め、農地集積に取り組む地域を支援している。

鳥獣対策経費について

- 質問 鳥獣対策事業の概要と有害鳥獣の近年の推移及び予算措置について

答弁 (農政課長)

有害鳥獣駆除事業の概要は檻の設置や見廻り、有害鳥獣の個体数減少のための捕獲駆除、鳥獣の侵入を防ぐ防止柵の設置、狩猟を行う者の確保と育成を目的とした狩猟免許取得助成である。

有害鳥獣の捕獲実績は直近3ヶ年増加傾向にあるため費用に不足が生じないよう予算の確保に努めたい。

文化財課の施策成果について

- 質問 文化財費の中の「輝くNARA歴史資産活用経費」が予算に対し決算額が半減以下になった原因について

答弁 (文化財課長)

令和2年度の「輝くNARA歴史資産活用経費」の約半分がウワナベ古墳発掘調査経費であり、当初計画の発掘調査区域が確保できず発掘調査を大幅に縮小したこと、また、新型コロナウィルス感染拡大につき当初計画していた一般公開についても縮小したことが原因である。



コロナ禍での奈良町の観光振興の取り組みについて

- 質問 令和2年度施策の成果、今後の取り組みについて

答弁 (奈良町にぎわい課長)

ユーチューブの活用で大きなPR効果が得られたと考えられる。今後、体験型施設の登録店等の魅力を伝えより多くの観光客の方々にも知っていただけるよう取り組みの範囲を広げていきたい。